



社会福祉法人 いわき福音協会  
 はまぎく荘

# はまぎく

## 第99号

発行責任者

〒970-8003  
 いわき市平下平窪字熊ヶ平6番地  
 TEL (0246) 23-5311  
 FAX (0246) 23-5312

はまぎく荘新聞編集委員会

### ● 紙面紹介 ●

- 1 面 今こそ「現場力」を
- 2 面 グループ旅行
- 3 面 研修旅行・いも煮会  
国際福祉機器展研修会
- 4 面 忘年会・クリスマス会  
中華ボランティア  
カットボランティア  
みはま福祉祭

## 今こそ「現場力」を

所長 涌井常吉

東京駅・新幹線ホームに立つ赤いジャンパーのテッセイの人たちが一列になって、入線する新幹線をお出迎えしている姿を一度は見たことがあるでしょう。

実は、私も昭和四十七年の春から数ヶ月でしたが働いていました。

「新幹線のお掃除の天使たち」という本を新聞の読書欄で見かけたので、すぐ購入し一読しました。

旧国鉄「鉄道整備株式会社」は昭和二十七年設立、現在JR東日本グループ会社「テッセイ」です。

私が仕事をしていた時は、本当に車輛清掃員というユニホーム姿でしたから、今の様に素敵なユニホームで仕事をしていたかと思えました。

その頃は、一車輛三人の

チームでした。車輛内のイラスを進行方向へ向きを変え、カーテンを戻し、清掃・床拭きとイスの袖にある灰皿の灰の片付けなど約七分間で終えます。

私は、床拭きと灰皿の灰を片付ける仕事の時、灰皿をひとつずつ取り出して片付けていくのですが、ガムや紙なども入っていて大変でした。

慣れないときは片側だけで一杯で、チームに助けて頂いたことも。また、車輛清掃が間に合わなくて「ボカ」したことも一度あり、司令塔（事務所）から呼び出され、厳しくおこられたこともありましたが、仕事は楽しかったです。

あの頃と今の違いはユニホームだけでなく、ただ清掃することだけの清掃員でなく、お客様に快適に旅行して

いただくためにはという発想があります。お客様に季節感をと、春は桜、夏はハイビスカスの花飾りを帽子に飾り、入線時のチーム一列での整列、出退場の「一列」などなど、現場が日々の仕事に励むだけでなく、様々な知恵やアイデア、創意工夫を生み出し、それが業務の改善やサービスの向上に活かされます。

経営と現場が一体で取り組み、テッセイは「知恵を生む現場へ」と変わりました。テッセイの現場は、与えられた仕事をこなすだけの現場でなく、「もつとよくなる。いろいろなことができるはずだ」と現場が信じ、現場の目線で知恵やアイデアを生み出します。そして自分たちが率先して実行に移します。まさに「現場力」です。

私たちの仕事も、「現場の目線」が求められています。障害を持つ人たちへ、与えられた仕事をこなすだけではなく、「こうすれば、もつと良い支援が出来るはず」と現場が信じ、そして実行する。

支援員の「現場力」が今こそ必要だと思えます。

新幹線の清掃員として働いた昔を懐かしみ、仕事に対する姿勢を教えられた本でした。

新幹線の清掃員として働いた昔を懐かしみ、仕事に対する姿勢を教えられた本でした。

### 福島日帰り

十月十六日(火)日帰り班の旅行がありました。『認定NPO法人ラブ&ハーモニー基金 社会福祉事業 歌で繋



ごう未来へ」笑顔で福島から「昭和のヒットソングをあなたと一緒に」で、平尾昌晃さん、布施明さん、山田邦子さんのコンサートをきいてきました。昭和時代に青春を謳歌した利用者さんにとって、昔を懐かしみ心が熱くなったようです。手拍子を打ちながら、一緒に歌って、とても楽しい時間でした。歌手の方々は、大きな張りのある声、力強く頼もしい表情、優しい笑顔、先頭に立ち引率してくれよう

とする姿勢、どんな歌を聞いていても、私たちに元氣と希望、輝く未来を想像させ、応援してくれました。いつまでも元氣で明るく笑顔で生きていこうと思えました。出演者の方々に感謝です。

岳温泉での豪華な食事のおいしさ、山々の自然の美しさと澄んだ空気の爽やかさ、元氣と優しい心をもらったコンサート、五感全てが満たされ、はまぎく荘の皆さんは、エネルギー満タンです。ありがとうございました。



### 那須一泊



十一月十四日～十五日で利用者さん十二名と職員六名の計十八名で、十一月とは思えない暖かい陽差しの中那須へと出発しました。まずチーズガーデン五峰館で昼食。その後売店で試食を楽しみながらのお買物。自分に家族にと次々お土産を選んでました。次にオルゴール美術館に向い、説明を受けながらオルゴールの音色を聴き少しの間、昔にタイムスリップしてきた感じ。曲を選び、飾り付けも自分で考え、少しだけ職員に手伝ってもらい、世界で一つしかないオルゴールを完成させました。

### 仙台松島一泊

ホテルに着き、美味しい料理と温泉を満喫し、歌って踊って那須の夜がふけていききました。二日目、強風が吹く寒空の中、どうぶつ王国でたくさん動物を見たり、触れ合ったり、怖がったり、反応は人それぞれでしたが、二日間絶えず笑い声が聞かれ、楽し

去る十一月二十日～二十一日に男子棟利用者が待ちに待った『仙台・松島観光ツアー』に行ってきました。利用者の希望である「肉」「動物園」「宴会」全てを取り入れた豪華な旅行でした。初日、休憩ポイントごとにお菓子・ジュース・名産品を買い込み、昼食は仙台名物『牛タン』に舌鼓。食べごたえがありました。

八木山動物園では間近で北極グマやライオンを見て大騒ぎ。興奮したけどちよっと寒かったですね。ホテルでは「今夜は無礼講」とばかりに出されてくる料理を楽しみ、ビールを飲んでつぶれた人、カラオケでいっぱい弾けた人、料理だけを楽しんだ人と

しかったよという声が聞け、たくさんおの思い出を胸に皆が待っているはまぎく荘へ帰ってきました。



様々ですが、皆楽しんでくれているのが伝わりました。二日目、朝食バイキングで腹ごしらえした後、国宝「瑞巖寺」へ。立派な建物を見て景色を楽しんできました。

二日間通じて、和気あいあい楽しく行動出来ました。来年もまたより楽しめるよう企画していきたいと思えます。



# みはま愛護の会 研修旅行



今年十一月八〜九日の日程で、みはま愛護の会の研修旅行が行われました。はまぎくからは保護者二名、職員四名の参加で、三施設で三十名でのにぎやかな旅行となりました。

初日の鎌倉市内観光では、学生と外国の方に行く先々で会い、修学旅行を思い出しました。保護者からも「鎌倉は修学旅行以来だね」との声が

聞かれたりしました。また、観光地を巡るには「足腰が丈夫」が一番である事も痛感しました。

二日目の研修先の藤沢成成会は、親たちの願いを実現するための取り組みの中から生まれたとお話しをうけ、当法人の創設者大河内一郎氏の思いが脳裏をよぎりました。また障がい者と親たちの高齢化、人としての権利をどのよ

うに守るか、社会参加、交流をどのように進めるかなど、同じような課題を抱えてました。多くの事業所の中から、湘南あおぞら」と「湘南ゆうき村」を見学しました。あおぞらは三階建てのビルで、居室はほぼ個室化になっており、食事のペースを尊重しているとの事でした。

た。ゆうき村は介護保険

を利用されている方と、身体障がい者の方が一緒にサービ

スを利用しているので、玄関は二カ所設置して対応しているとの事でした。露天風呂があるのですが、外から見えてしまう事に気づき、現在は利用していないと職員の方が残念そうに話してました。

## ついでに

いつもながら親の会の研修で色々なところを見学します。目ざしているところは同じだと思いますので、これからも親の会の研修旅行を通して多くの事を学んでいきたいと思

十月六日(土)、利用者四十七名、保護者二十二名、職員十九名が参加し、いも煮会が行われました。アキユラシーや自転車こぎで軽くからだを動かし、思い出の写真釣りや昔を懐かしみ、宝引きで沢山のおやつを手に入れました。歓声が天高く響き、満面の笑みで、とても楽しそうでした。朝から作った豚汁とおにぎ

## 国際福祉機器展研修

齋藤 眞理

九月二十六日東京ビッグサイトで開催された国際福祉機器展を見学しました。広い会場のブースには福祉機器のあらゆる物が実演、展示されてました。

入浴機器、ベッド柵がメッシュ状になった物、排泄物がパイオの力で臭いも形もなくなってしまうトイレ、排尿が離れた位置から確認できるシステムなど、使用する人、される人双方の身になって考

りを食べながら、荘での様子を話し、ご家族の方々とみんな一緒にのんびりしたひと時を過ごしていました。

保護者の方々に、普段の荘の生活を見て知ってもらい、利用者さんの望みや保護者の方々の要望を気軽に話してもいい、はまぎく荘のみんなが一つになれる大切な行事です。

はまぎく荘が必要とされ、利用者さんの理想とされる生活が送れるよう職員全員が一つとなり努力していきます。



えられていました。

日頃困っている事、疑問に感じている事にも担当の方から丁寧に説明を頂き、大変参考になりました。

以前、介護の世界が悪い意味で3Kと呼ばれていた事が薄れる感じがしました。

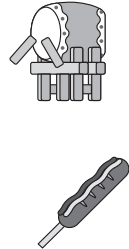
日程の都合で四時間程の見学でしたが、この見学を通して介護する立場の者もきちんと商品知識をもち、介護技術も必要であると痛感しました。

多くの方がこのような機会を持てれば良いと思います。

# みはま福祉祭

九月一日、爽やかな日差しの中、第三十六回みはま福祉まつりinはまなすが開催されました。ステージでは、たいこ演奏やよさこい、吹奏楽の演奏、子供じゃんがら等を楽しみ、ステージ以外では、チケットでカレーやパン、ドリンクやフラ

ンクフルトを食べたり、その他にも焼き鳥やかき氷などを買ったたり、お祭りらしい出店を楽しみました。今回ははまなす荘で行いましたが、来年度は、はまぎく荘での開催となります。お祭りに御来場いただいた地域の方々や利用者、みんなが楽しめるお祭りしていきたいと思っておりますので、御協力をお願いいたします♡



## 忘年会

十二月六日、いわき市内のいわきワシントンホテル椿山荘で忘年会を行いました。食事は豪華なコース料理を食べながら環境班のおもしろいダンス、工芸班とたんぽぽ班一緒の合唱とフラダンス、事務職員で行った人形劇等楽しい余興を行いました。利用者のみなさん、とても楽しんでおり、来年も良い一年を送ることができると思います。



## 中華ボランティア

十一月十三日、いわき市内の中華料理調理師会『きさるぎ会』のご厚情により中華料理をごちそうしていただきました。

どれもこれもプロの作った料理だけに利用者の方々が、とても満足していたと実感する



ることができました。

- 加藤 恒夫さん「チャーハンがうまかった。」
- 岩立 珪子さん「みんなおいしかったです。」
- 金子 俊哉さん「エビチリとマーボー豆腐が特においしかったです。」

## カットボランティア

毎年、十二月の第一月曜日に来てくれる、いわき美容組

と一部ですが、他にもたくさんの方々の声の聞いて本当に感謝いっぱいです。どうもありがとうございます。

合内郷支部の皆さんが、今年も十二月三日に来てくれました。今年には六名で来所し、女性利用者のヘアカットをしてくださいました。カットしてもらった利用者の方々はニコニコ笑顔。ボランティアに来て下さった美容師さんからは「毎年ながら楽しく来させてもらっています。喜んでもらえてうれしいです。」とお話もありました。



## 総合社会福祉大会

支援員パートの荻野洋子さんが、大会会長賞を受賞しました。おめでとうございます。

## 編集後記

今回、初めて編集担当となりました。最近では、インフルエンザやノロウイルス等が流行していますが、私も数日体調を崩して、寝込むことになってしまいました。皆様も風邪等に注意して過ごしてください。

## クリスマス会

12月25日、はまぎく荘中央ホールにてクリスマス会を行いました。午前の部、礼拝では海野理事長・根内前施設長御出席の元、お祝いの言葉・お話をいただき、全員でお祈りと賛美歌を歌いました。午後の部、プレゼントくじ引き大会は食堂にて行いました。可愛らしいブーツ型のくじを引き、サンタからのプレゼントをそれぞれ受け取りました。皆さん、にこにことした表情でプレゼントを開けていました。その後は、美味しいケーキと紅茶でティータイム。□いっばいにケーキを入れ、クリスマスを満喫しました。

